

第60回 富士市展図録

市

展

FUJI CITY ART EXHIBITION

2026

絵画の部

書道の部

写真・工芸・彫刻の部

主催 富士市

令和8年度 第60回 富士市展

- 第1期 絵画・デジタルアート 令和8年6月5日(金)～6月7日(日)
- 第2期 書道 6月19日(金)～6月21日(日)
- 第3期 写真・工芸・彫刻 7月3日(金)～7月5日(日)

会場 富士市文化会館（ロゼシアター）展示室

主催 富士市

目 次

ごあいさつ	1
第1期 絵画	2
絵 画	3
デジタルアート	15
第2期 書道	16
毛 筆	17
硬 筆	30
第3期 写真	34
写 真	35
工芸・彫刻	43
彫 刻	44
陶 芸	46
染 織	48
工芸総合	51
入賞者・入選者一覧	53
作品応募状況	56



第60回富士市展図録の発刊にあたり、あいさつ申し上げます。

富士市展は、市民芸術の創作発表や鑑賞の機会を市民の皆様を提供し、市民文化が発展向上していくことを目的として、毎年開催しております。

このたび、第60回という節目を迎えることができましたのも、長年にわたり作品を出品してくださる市民や招待作家の皆様をはじめ、審査員の先生方、そしてご指導くださる先生方など、芸術に携わる多くの方々のお力添えの賜物であり、心より感謝申し上げます。

今回も、写真、工芸、彫刻、絵画、書道をはじめ、多彩な分野において数多くの力作が寄せられ、本市の文化の豊かさと創造力を改めて実感しております。本図録には、その中から厳選な審査により選ばれた入賞作品を掲載しており、作品に込められた感性や表現の魅力を広く感じていただけるものと存じます。

また、本市は市制施行60周年という大きな節目の年を迎えました。これまで市民の皆様が築いてこられた文化を次世代へ継承するとともに、新たな文化芸術の創造へとつなげていくことが、今を生きる私たちの大切な役割であると考えております。

本市といたしましても、「笑顔とにぎわいに満ちた富士市」の実現に向け、市民文化の振興に努めるとともに、本市展が多くの方に文化芸術の魅力を届ける機会となるよう取り組んでまいります。

結びに、市展の開催にご尽力いただきました関係者の皆様のますますのご活躍とご健勝を祈念申し上げ、あいさつとさせていただきます。

富士市長

金指 祐樹

審査員紹介



金丸 悠児

画家

総評

本年の富士市展では、これまで設けられていた「洋画」「日本画」という垣根が取り払われ、一様に「絵画」として審査させていただく運びとなりました。これは時代の変化に則した必然の流れであり、私たち表現者が「何で表現したいか」ではなく「何を表現したいか」がより問われていることを示しています。そのような背景から、今回は訴えたいメッセージや描きたい世界が強く表れているか、という目線で評価し、それに相応しい作品を賞として選出しました。賞に至らなかった作品も魅力的なものが数多く見受けられましたので、ぜひ次回以降もチャレンジを続けていただきたいと思う次第です。

■ 入賞作品 ■

第1期

絵
入
賞
作
品
画



大賞

夕映の彼岸花

二見 六男 富士市宮島

本作は、夕陽に照らされ風になびく視界一面の彼岸花を描いており、モノクロでありながらも色彩を想起させる幻想的な風景画です。細密に描写された花は奥へいくほど抽象化され、気がつく と彼岸へと導かれてしまいそうな、美しさと怖さが同居する不思議な作品です。



優秀賞

静岡ステーションへ

大倉 正次 富士市中野台

静岡駅前の何気ない風景を、軽やかで透明感のあるタッチで描いています。歩く人々は仕事を終え家に帰るのか、あるいはこれからどこかに出かけるのか、色々な想像がふくらむ作品にふと心が安らぎます。

優秀賞

寂れ

鈴木 亜湖 富士市西柏原新田

塗装の剥がれや金属の錆びた表状を、日本画材の特性を活かして味わい深く描いています。主役を描かない空間のもの悲しさが、誰しものが胸に抱える空虚な感情と重ねているようにも見える点が興味深く感じました。



優秀賞

霊獣—阿吽—

山下 佳廉 富士市森下

獅子と狛犬の力強く雄々しい表情が見事に描かれており、霊獣としての風格を一層際立たせています。確かな描写力と明暗設計、要所に盛り上げを施しており、画材の特性を理解し上手く使いこなしています。



奨励賞

見つめる目

内海 陽一 富士市伝法

猫の顔をアップに描いたインパクトの強い作品ですが、その大胆さとは裏腹に、エメラルドの瞳はたくさん色が施され、丁寧に描かれています。飼い主との信頼や物語が内包されている点を評価しました。

奨励賞

芍薬

高木 薫 富士市鵜無ヶ淵

上手さでも技術でもない、作者の「こう描きたい」という感性が、まっすぐ伝わってくる美しい作品に仕上がっています。日本画でしか描けない光に包まれた優しい表現に好感を持ちました。



奨励賞

スプリング・ガーデン

田中 眞紀 富士市松岡

緑の草花が生き生きと表現され、春の訪れを喜んでいるような作品です。色相豊かなグリーンを基調に、安定感のある構図と和紙の心地よい質感が作品の完成度を押し上げていると感じました。





奨励賞

富士昇竜

望月 和良（暁白）

富士市水戸島

富士山の表面の描き込みが素晴らしく、尋常ではない執着その一点を評価させて頂きました。威風堂々とした富士山に対して手前の龍とのギャップが微笑ましいのですが、描き方次第でもっと良い作品に化けると感じました。

奨励賞

BLUR

山本 叡華 富士市川成新町

駅のホームに佇む少女の周りには多くの人が行き交っているのですが、タイトルの通りブラーがかけられぼかして描かれています。それにより少女の孤立感が色濃く表現され、作品のメッセージ性を高めることに成功しています。



招待作家作品

第1期

絵

招待作家作品

画



おこぜ

浅野 緑

富士市錦町



と或る情景X

今岡 幸男

富士市中丸



マリオネット

石川 邦彦

富士市松岡



ヨウシャヤマゴボウ

大屋 初江
富士市中野



利尻のシマリス

甲田 幸子
富士市柚木



潮音

木下 恵美子
富士市富士見台



空と緑と…

小林 重夫
富士市岩本



森の記憶

小林 一裕

富士市桑崎



面相

斉藤 和馬

富士市宮島



集積の鉢

齋藤 立己

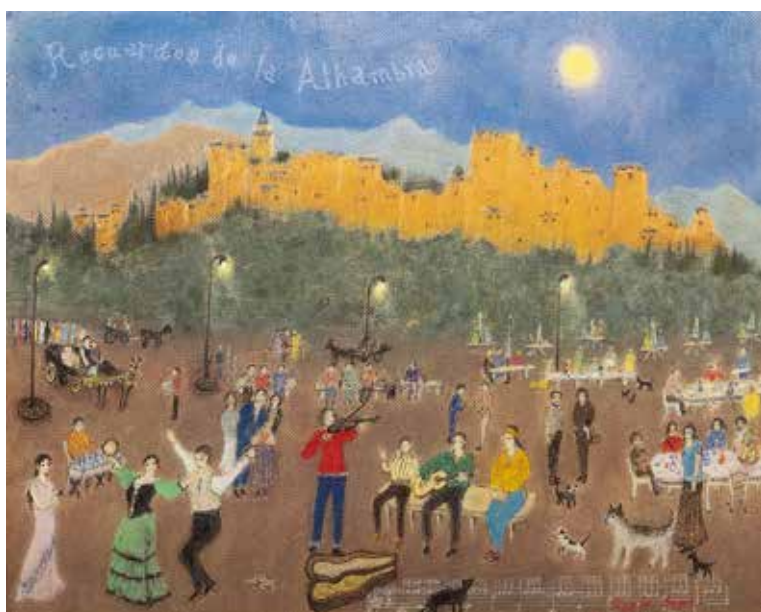
富士市横割



夢
三枝 稔
富士市水戸島元町



藪
設楽 あさ子
富士市石坂



アルハンブラの思い出
鈴木 喬子
富士市元町



白昼夢

立田 衛由

富士市宮島



ふくろう

高野 公子

富士市瓜島町



火焰型土器

田中 せつ子

富士市宮島



日差し2
田邊 和正
富士市伝法



カーテンコール
丹野 眞由美
富士市宮下



桜花
時田 喜代江
富士市宮島



SHORT PIECE

古郡 敦

富士市伝法



Y 氏像

村上 雅洋

富士市久沢



いにしえの面

渡辺 勝子

富士市蓼原



街

山口 喜玉

富士市石坂

富士市展では令和6年度に、パソコンやタブレット・スマホなどでアート作品を制作している方を対象として「デジタルアートの部」を新設しました。3回目となる今回は、41点の応募がありました。



金丸 悠児

総評

デジタル技術を用いたアート表現は年々多様化しており、近年の生成 AI の台頭により技術の差は無くなったかのように見受けられます。誰でも手軽に絵を描ける時代に突入し、デジタルアートは新しい局面を迎えています。

どのようなツールを選ぶか以上に、造形力と感性を磨くこと、そして自分の世界を持つことが大切になってきます。たくさんの作品を観て、ぜひご自身の世界を深めていただきたいと思います。

審査員紹介



鬼頭 墨峻

日本書道美術院 会員
毎日書道会 常任顧問
日本詩文書作家協会 常任顧問

総評

電車に乗り右側の窓に富士山が見えると今日は良い事がありそうだという気持ちになる。ここに住んでいる方は毎日姿を見られるので良い事が続くと思う。うらやましい限りである。今回は60回という記念の為か、出品数も増加したという。書に携わる者として大変喜ばしい限りである。作品も力のこもった力作が揃っており、甲乙をつけるのに苦労した。入賞した方はもちろんの事であるが、入選者も次回は入賞を目指して練習して欲しいと思う。

総評

日本書道のユネスコ無形文化財登録が年末に期待されている今年、富士市展は60回の記念展を迎えられ、伝統を踏まえつつ、気に満ちた作品が多く集まっていたので審査も精魂込めて慎重にさせていただきました。やはり線の強さ・余白の充実度を重視しましたが、富士山を日々仰ぎ見るといった恵まれた環境がなせるのでしょうか、自由闊達なのに矩を論えずの感のある作品が多かったのは頼もしく嬉しく思いました。



近藤 浩乎

日展 会員
読売書法会 常任理事
玄之会 理事長

■ 入賞作品 ■



第2期

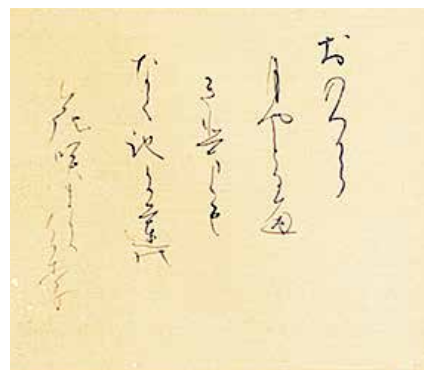
書道(毛筆)
入賞作品

大賞

山家集

清 俊玲 富士市厚原

筆力申し分なく、そこから生まれる強い線で自由に動きの有る紙面構成に仕上げられたとても見応えのある素晴らしい優秀作です。飽きず全体を見て楽しいのですが、下段上部が同じ長さの空間が広がったのが唯一残念に思います。





優秀賞

左永子歌

芝田 雪柳 富士市青葉町

調和体（近代詩）潤渇をうまく使い、良くまとめている。漢字を大きく書き、作品を盛り上げているが、ひら仮名にもう少し存在感があればと思う。あとは落款がやや窮屈に感じられるので、仕上げる前の構成の時にその場所も考慮したい。



優秀賞

花

眞鍋 淳子 富士市米之宮町

小字なのに強い線質と大胆な大きな動きのある作品構成は本当に見事で、動きのある文字のデフォルメは余裕さえ感じます。ベンガラ色の紙の配置も面白い。

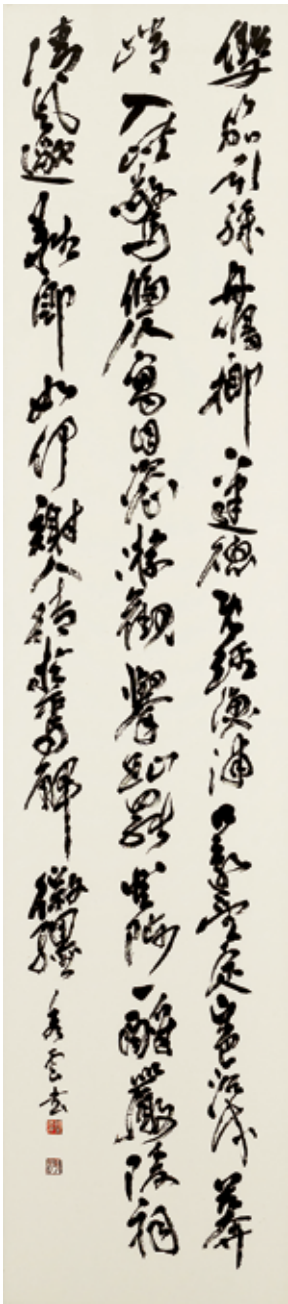


優秀賞

白居易詩

望月 碧雲 富士市平垣

篆書の作品、横額の作品を最後まで乱れる事なくまとめ上げている。会の本流の書風をしっかりと自分のものとしている。本文に対して落款、印の位置に配慮をしたい。

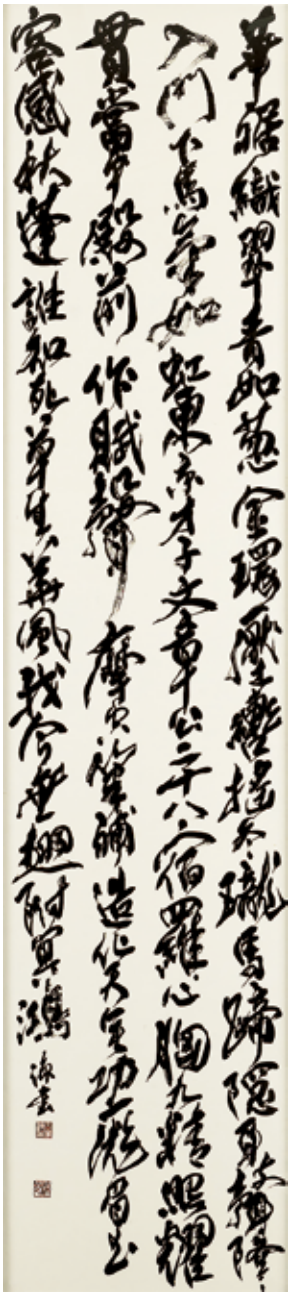


奨励賞

七里灘作

鈴木 秀雲 富士市伝法

明代の倪元璐、黄道周を骨子とした作品。中央に文字を寄せて余白を生かしているが、必ずしも成功したとはいいがたい。しかしながら、章法を色々と工夫して制作する事は非常に良い事であり、評価している。



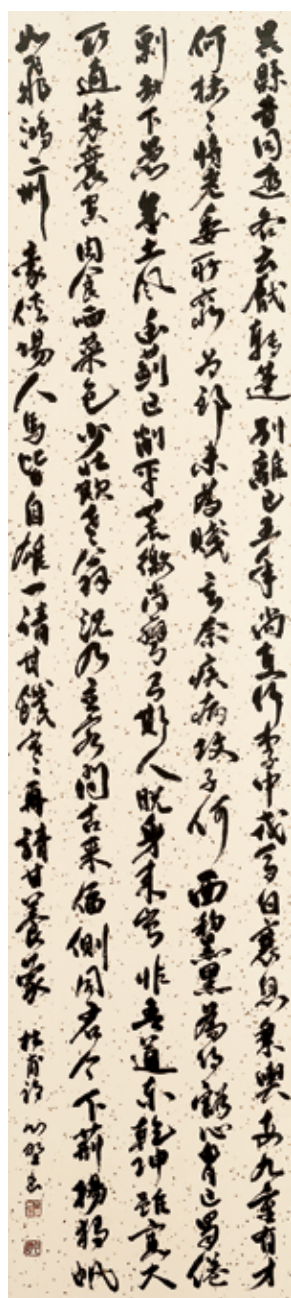
奨励賞

李賀詩

内藤 涼 富士市依田橋町

明清の書を習い込んでいるのが窺える作品である。筆力があり、見る者を引き付ける。

次には、渴筆を生かした作品も研究してみたらどうか。今後に期待したい。

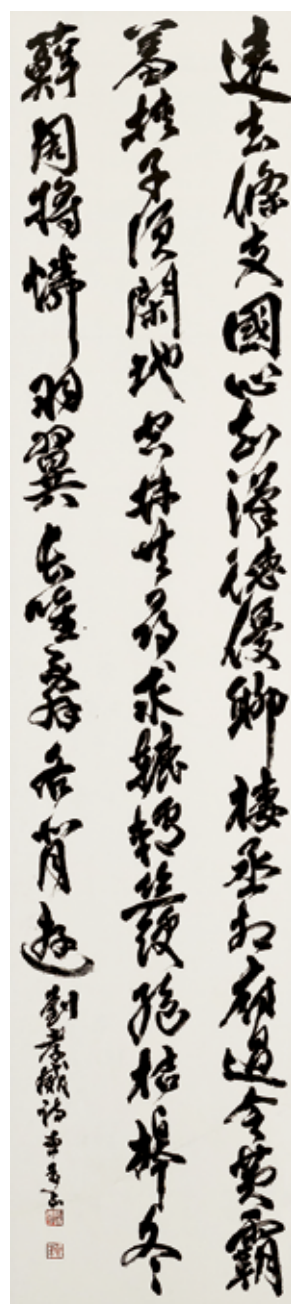


奨励賞

杜少陵詩

北條 心野 富士市依田原町

多字数の努力作であり、終始乱れがなく、良くまとめており、流れが良い。左右、仔細にみるといくつかの草体は疑問のある文字がある。リズムよく書いているとそのような事もままあるが注意したい。

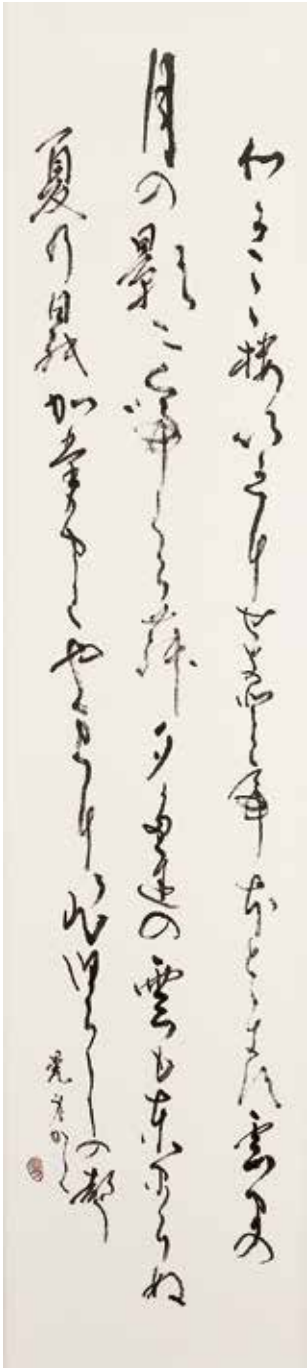


奨励賞

劉孝威詩

渡辺 恵玉 富士市青島町

行草混態の作。書は文字を題材にしている芸術であり、この作の様に丁寧にしっかりと書く事は大切な事であり、ぜひこの姿勢を続けて欲しいと思う。作風に無理がなく楽な気持ちで見える事が出来る。



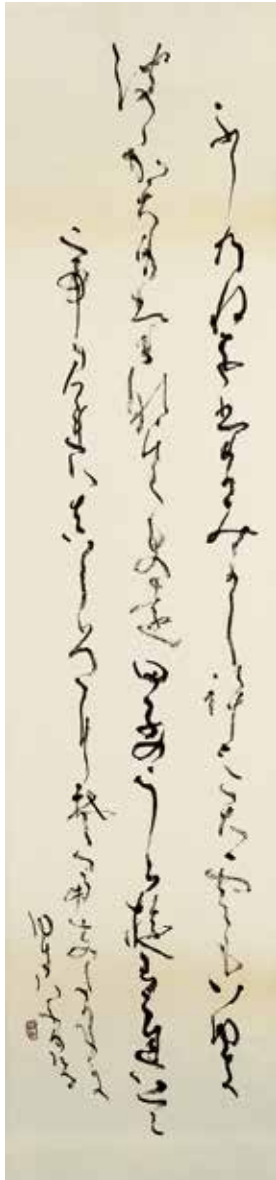
奨励賞

夏の詩

渡邊 晃身 富士宮市山本

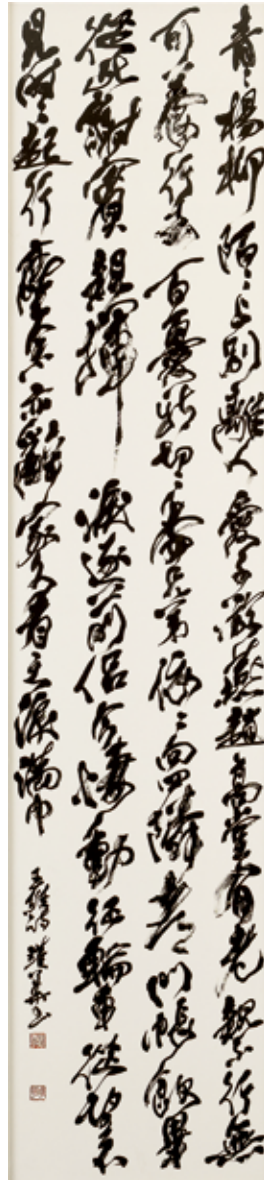
強く温味のある線質で伸びやかに縦の流れを重視して書かれた佳作。二行目が中央に凜と立ちすぎベルリンの壁的に左右の分離を生んだ感があるのがほんの少し残念です。

招待作家作品



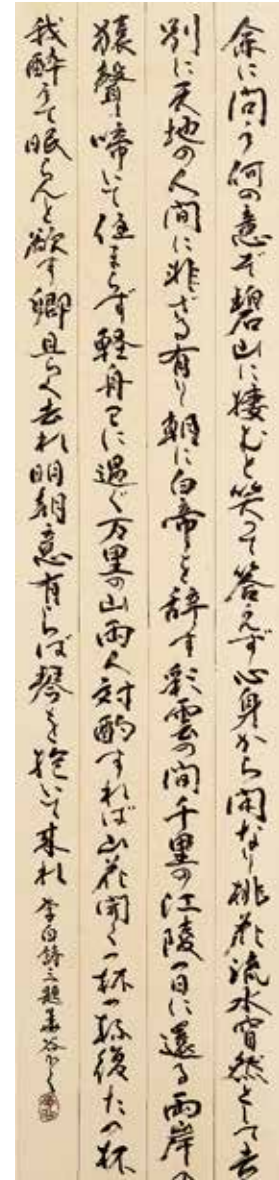
万葉歌

岩渕 わか子
富士市松岡



王維詩

大野 瑾華
富士市西柏原新田

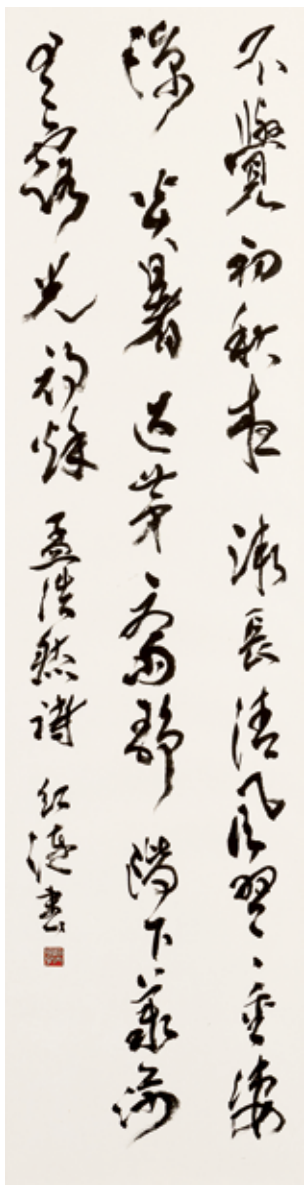


李白の詩三題

大村 華谷
富士市厚原

第2期

書道（毛筆）
招待作家作品



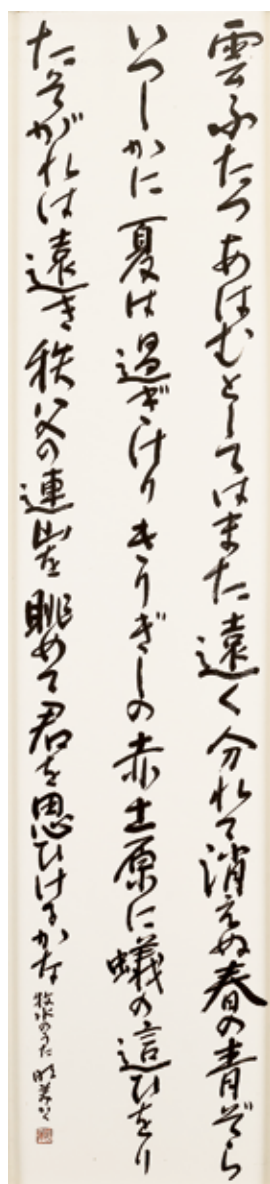
初秋
河内 紅漣
富士市加島町



暁の
 久野 流水
 富士市宮島



万葉歌 二首
久保田 きよみ
富士市松岡



牧水の歌
佐野 明美
富士市水戸島



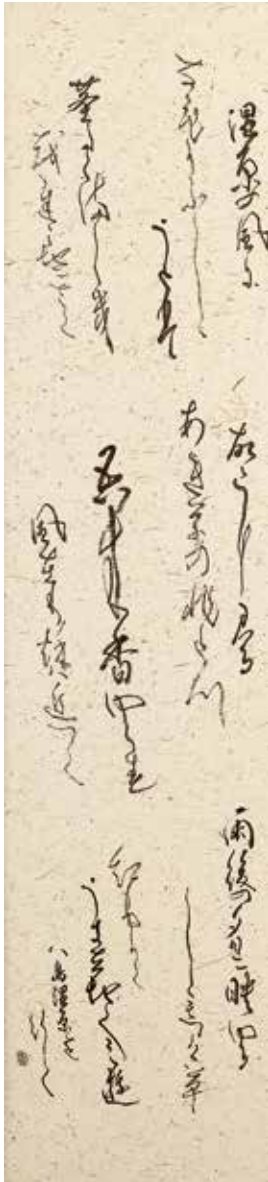
楽天知命我無憂
佐野 清香
富士市中丸



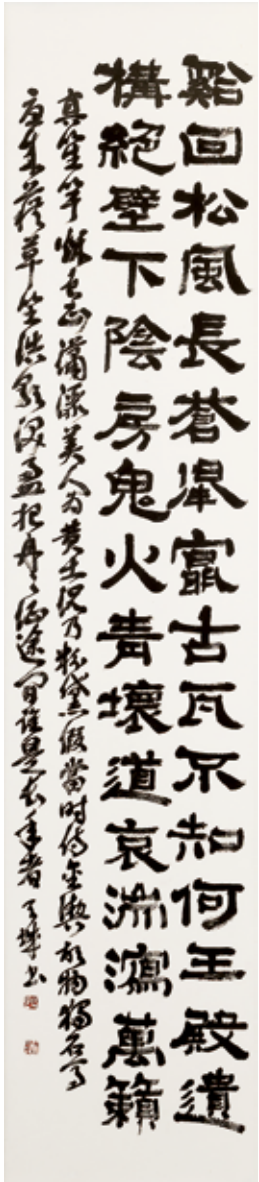
道元禅師「傘松道詠」より
佐野 雪洲
富士市久沢



王維詩（田園樂）
鈴木 錦苑
富士市瓜島町



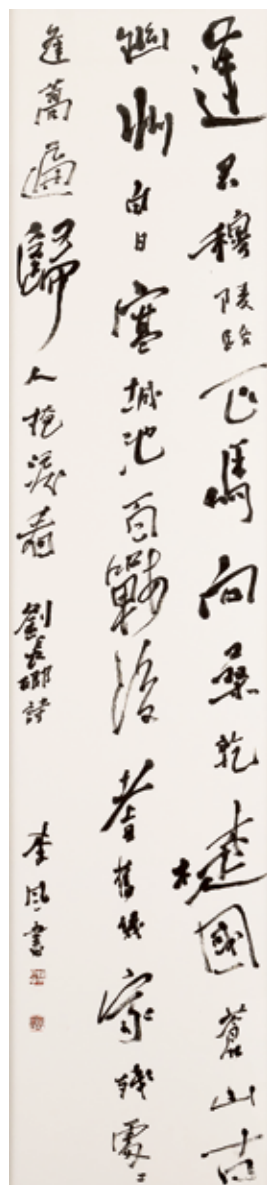
湿原の花 自詠歌三首
鈴木 春翠
富士市厚原



杜甫詩
鈴木 天城
富士市厚原



高青邱の詩
鈴木 鳳苑
富士市石坂



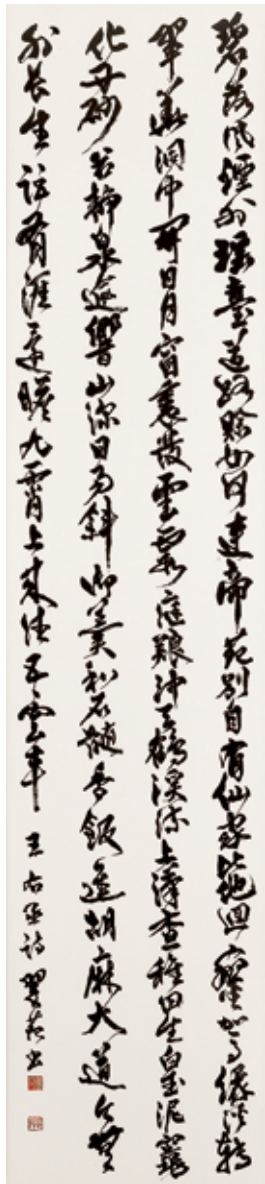
王漁洋詩
鈴木 李風
富士市大淵



生死のなかの…(山頭火句)
時政 莊子
富士市富士見台



杜審言
林 桐翠
富士市緑町



王右丞詩
藤田 翠苑
富士市御幸町

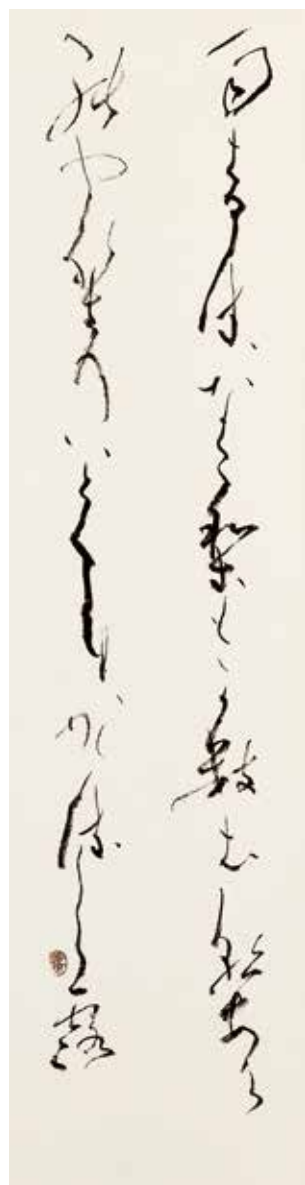


高啓詩
三ッ岡 瑾流
富士市西柏原新田



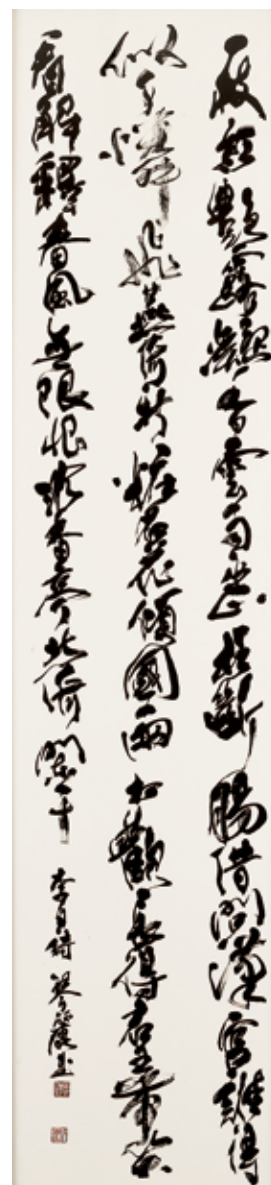
邊貢詩

宮本 暉篁
富士市青島町



藤原公顕の歌

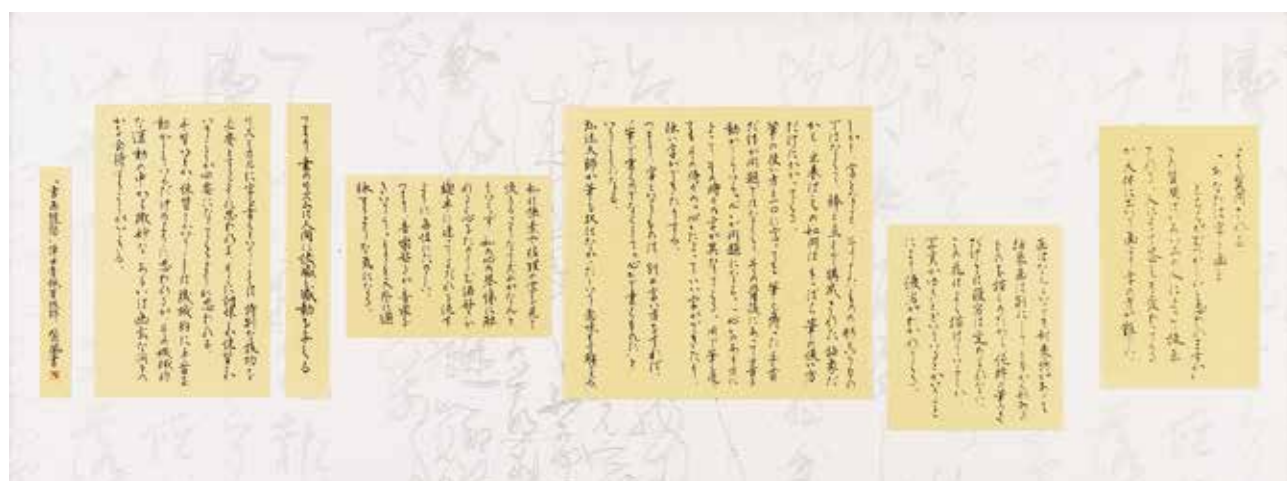
室伏 華琉
富士市久沢



李白詩

吉村 琴麗
富士市比奈

■ 入賞作品 ■

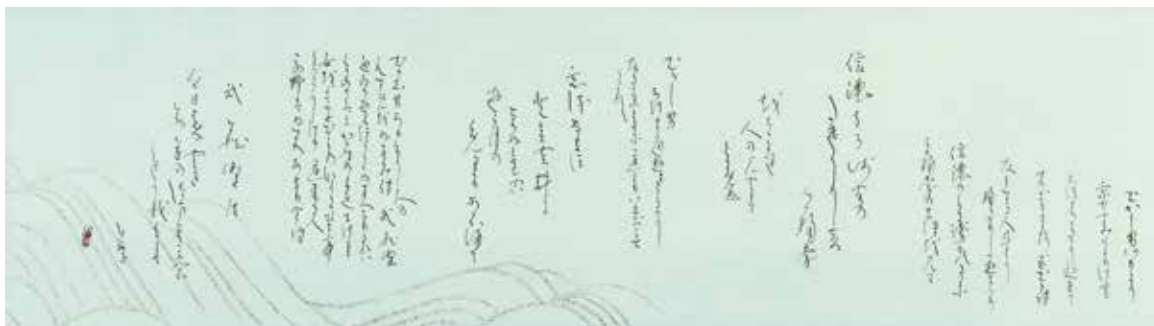


優秀賞

書画随想

岩崎 紫鳳 富士市厚原

ほんとうに美しい硬筆で、一字一字も申し分なく形が整っており流れもよく通った見事な優秀作で、余裕さえ感じさせる書振りで硬筆のお手本にしたいような作です。

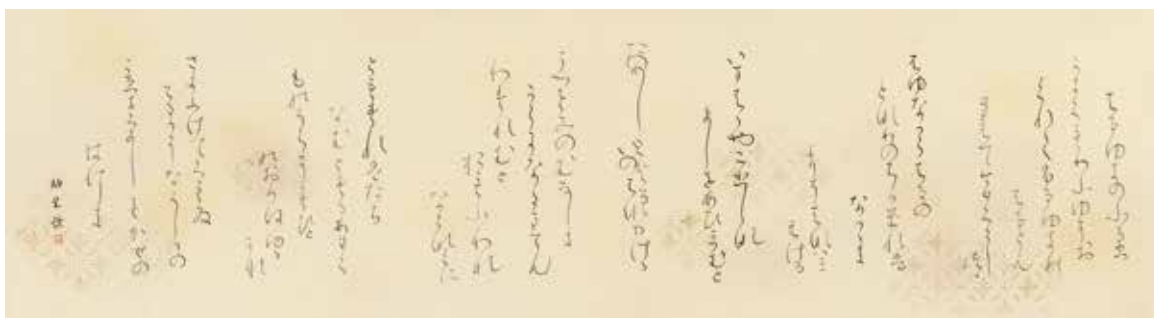


奨励賞

伊勢物語

植松 永香 富士市中野

全体としては波の模様のある料紙に上手く紙面構成をして伸びやかで自由な書振りの楽しい作品に仕上がりました。少し速書なのか、ここ無かりせばと思わせる箇所が散見されるのが残念です。



奨励賞

升色紙の臨書

鈴木 柚朱 富士市津田

升色紙の特徴をよく捉えたおおらかで美しい臨書です。ペンでこの楽しさ伸びやかさが出せるのが見事だと思います。

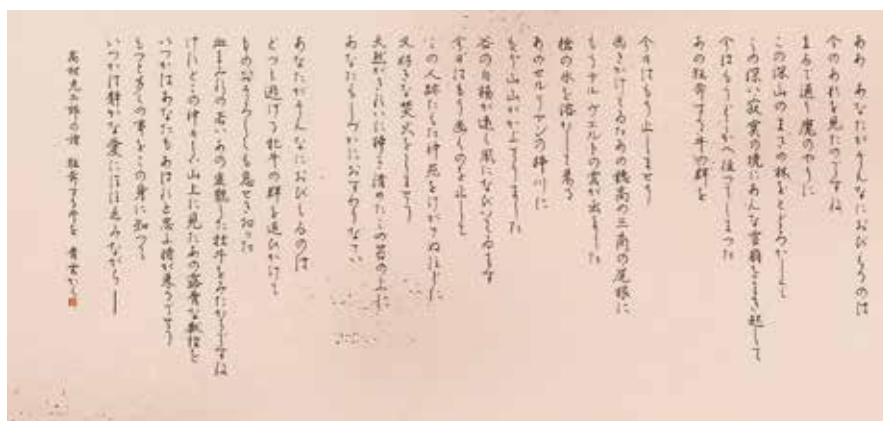
招待作家作品



あらたしき

大川 栖心

富士市御幸町



高村光太郎の詩

後藤 青雲

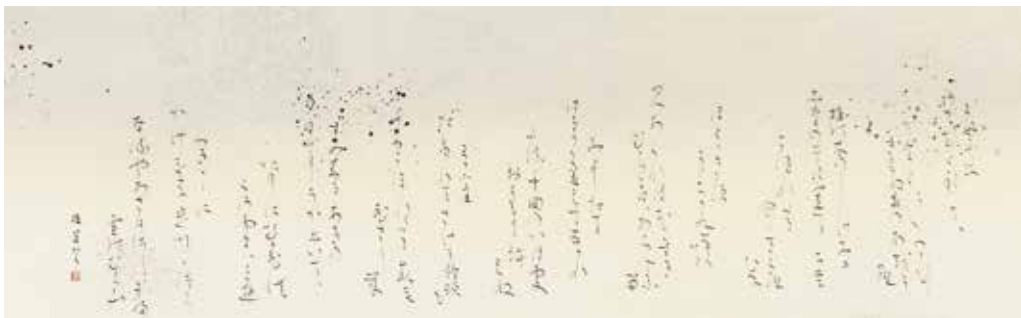
富士市原田



古今集 花の歌

清 俊玲

富士市厚原



牧水の歌

土屋 睦蓮

富士市一色

審査員紹介



甲斐 啓二郎

写真家
東京総合写真専門学校
非常勤講師

総評

様々な写真が並び、選考に一苦労しました。美しい風景、祭りの躍動、日常の中で見逃してしまうような一瞬を、皆さん見事に捉えていました。

今回選ばれたのは、光や構図を上手く捉えているのはもちろん、最後のプリントまで手を抜かずに仕上げた作品が選ばれました。

みなさん、光や構図、シチュエーションは意識されて撮られていると思うのですが、最後のアウトプットをおろそかにしていませんか？データをモニターで見て満足してしまっていないですか？今回選に漏れてしまった方は、最後のプリントまで意識して、次回チャレンジしてみてください。きっとチャンスがあるはずです。

■ 入賞作品 ■



大賞

糸蜻蛉の世界

立石 比呂志 富士市国久保

まさに糸蜻蛉の世界、宇宙を見事に捉えています。感心するのが、4匹の糸蜻蛉にピントをしっかりと合わせたF値の選択です。

構図、光、被写界深度も申し分なく、水面を黒く落とし、糸蜻蛉を浮き上がらせたプリントまで、完璧です。

第3期

写
入
賞
作
品
真

優秀賞

荒波

井澤 雄治 富士市瓜島町

画面の大半を波飛沫が覆っていて、右上には小さく富士山と釣り人が写っています。広角レンズを使い、富士と釣り人を小さく入れ込んだことが、この作品の成功の要因でしょう。とてもダイナミックです。海と富士の悠久の時と今を生きる人の時間の交差が、この写真には写っています。



優秀賞

私は誰でしょう？

杉山 幸次 富士市森島

不思議な写真です。水墨画のようにも見えます。画面はフラットで、水面に広がる波紋が人の顔のように見えたので、このタイトルになったのでしょうか。タイトルは褒められたものではないですが、この写真をみていると、異界へ通じる窓を眺めているようです。





優秀賞

陽光の道

中野 進 富士市中里

とてもドラマティックな写真です。私はあまりドラマティックな写真は信用しないのですが、この写真は犬を散歩させている、いわゆる日常的な女性が写っているのが良いです。これが光に腕を広げて何かそれっぽい写真だったら選ばなかったでしょう。しかし見事な構図と光を捉えています。

第3期

写真
入賞
作品
真

奨励賞

供養

江藤 力 富士市三ツ沢

燃え盛る炎と水面に反射した炎の間に、力強く鎮座する大ダルマ。構図もダイナミックでパワーをもらえる写真です。

この写真に惹かれたのは、なんといってもダルマの存在感でしょう。私はなぜか、このダルマの目から目が離せなくなります。



奨励賞

がに股の木と姫螢

小澤 治 富士市吉原

森の中を蛍が光を放ち綺麗に舞っています。この作品に惹かれたのは、背景の木々にまでしっかりと気を配り撮影されていることです。静寂な景色の中煌めく光は、森の精霊のように感じます。





奨励賞

こんにちは！

斎藤 勝則 富士市宮下

綺麗な紫陽花の花から顔を出しているのはトカゲでしょうか。このシチュエーションに出会えた瞬間、カメラを構えた斎藤さんの嬉々とした姿が想像できます。ハッとする瞬間に素直にシャッターを切った感じに好感が持てます。



奨励賞

雫に咲く

安田 浩美 富士市蓼原

マクロレンズで雫の中に写る花を見事に捉えています。紫とピンクのコントラストもとても綺麗です。ただこの写真も山崎さん同様、既視感があります。安田さんも技術力がある方なので、安田さん独自の作品を目指してみましょう。

奨励賞

夕映えのシルエット

山崎 克美 富士市今泉

とてもフォトジェニックな写真です。赤く染まる夕日、右上には上に伸びる飛行機雲、画面中央には大木のシルエット。申し分ない写真です。が、既視感がある写真です。技術力もある方なので、山崎さんしか撮れない写真に期待です。



奨励賞

新幹線お見合い

山本 安昌 富士市緑町

富士市らしい写真です。富士山をバックに、新幹線同士がまるでキスをするような瞬間を捉えています。一体、この瞬間を撮るのにどれだけの時間待ったのでしょうか？今の機材をもってすれば、簡単かと思ったりもしましたが、この場所ですれ違うこともそうそうないでしょう。その忍耐力に脱帽です。



■ 招待作家作品 ■



魚影を待つ

遠藤 泰弘

富士市元町



雨上がりの煌めき

原田 光郎

裾野市千福が丘

第3期

写
招待作家作品
真



富士宮秋祭り

平井 省吾

富士市厚原



凍湖

渡邊 信孝

富士市伝法

審査員紹介



三上 亮

東京藝術大学美術学部 教授
日本陶磁芸術教育学会 会長
東洋陶磁学会 会員

総評

初めて富士市展工芸部門の審査をさせていただきました。出品作は皆、完成度が高く、それぞれ世界観がユニークであり、大変楽しい審査会でした。工芸に限らず、制作は素材の理解と技術習得を共なうものですが、この他工芸は、長く続けていると、技術は自然に上手くなるものです。私は今回、表現したいという気持ちが直に伝わる作品を評価しました。仕上がりの美しさとのバランスが難しいですが、日々、感じることを忘れず形にする、おもいっきり遊ぶことが大切だと感じました。

総評

今年は染織作品の出品数がやや少なかったものの、一点一点に丁寧な手仕事と工夫が感じられる作品が多く、大変興味深く拝見しました。身の回りのものや日々の暮らしを題材にした作品が多く、生活と制作が自然につながっていることも印象的でした。これからも技法への挑戦と、それぞれの視点を大切にした表現が育まれることを期待しています。来年も新たな作品との出会いを楽しみにしております。



松永 武

kata kata 主宰
染色作家

■ 入賞作品 ■



大賞

紫陽花

森川 雄翔 富士市鵜無ヶ淵

鉄を溶断し溶接することが、効果的に行なわれて、空間をはらむ力強い作品となった。紫陽花の清楚な美しさとの、ギャップが大きな魅力になっている。

■ 招待作家作品 ■



月に漂う十日夜

漆畑 勇司

富士市柳島

第3期

彫
刻
招待作家作品

■ 入賞作品 ■



優秀賞

葵

太田 友幸 富士市大淵

陶芸の板作りの技法で破綻なく成形され、焼成も美しく、気品に満ちた作品となった。源氏物語の「葵」の巻がモチーフだと思われるが、絵付けも繊細で見る者を引き込ませる秀作だ。

奨励賞

針千本

中村 千歳 富士市大野新田

針千本のふくらんだ状態をかわいらしく、ユーモラスに表現した。丁寧に粘土造形された技術力も感じられる楽しい作品だ。



■ 招待作家作品 ■



GIFT

赤池 範子
富士市広見東本町



瀬戸黒抹茶々碗

川崎 松風
富士市元町



変化

森田 夢作師
富士市大淵

■ 入賞作品 ■



優秀賞

わたしのうつわ

中村 美帆 富士市三ツ沢

温かみのある器の表現から、作者が大切にしている「お気に入りの器」への愛着や思いが、見る人にも自然と伝わってきました。落ち着いた色彩も心地よく、日常の暮らしの中で部屋に飾られている情景まで想像させる、穏やかな魅力にあふれた作品です。



奨励賞

赤い実の着物

大芝 紀江 富士市水戸島元町

赤い実と緑の葉の色のバランスが美しく、全体としてまとまりのある、安心感を与える作品に仕上がっています。柄の構成も魅力的ですが、葉の表現にもう一工夫加えることで、モチーフ同士の関係性がより引き立ち、柄全体に一層の締まりと存在感が生まれるように感じました。



奨励賞

和 2026

橋戸 律子 富士市石坂

ロープという限られたモチーフだけで「静」と「動」を感じさせる構図が印象的で、型染めならではの力強さがよく表現された作品です。一色に絞った色使いにより、作品全体に引き締まった印象が生まれています。狭い生地幅の中でも大胆で伸びやかな表現ができており、魅力的な作品でした。

■ 招待作家作品 ■



山葡萄
石川 房枝
富士市中島



可憐な白い花
桂田 貴子
富士市厚原



早春
加藤 節子
富士市中島



風のささやき
中根 由香里
富士市富士見台

■ 入賞作品 ■



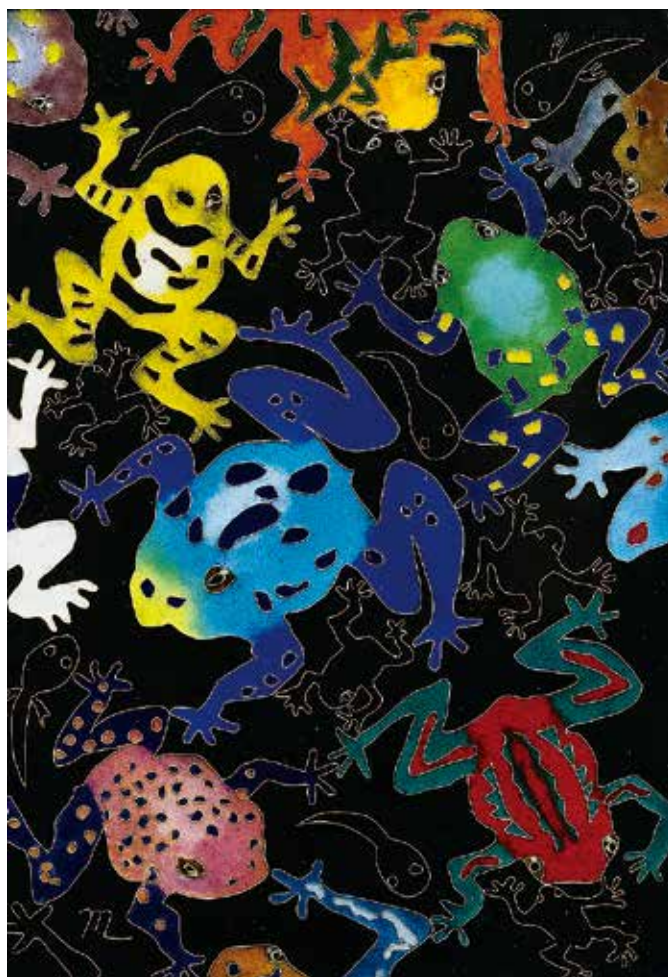
奨励賞

運河のある暮らし

本田 孝平 富士市荒田島町

シナ合板にウッドバーニングという木を直接焦がすことで絵を描くという珍しい技法を用いた。確かな構図や描写で繊細な仕上がりを見せている。

■ 招待作家作品 ■



カラフル (ヤドクガエル)

浅野 緑

富士市錦町

第3期

工芸 (工芸総合)
招待作家作品

絵 画

絵 画 入賞者

P 3～7

大 賞

二見 六男 夕映の彼岸花 富士市宮島

優秀賞

大倉 正次 静岡ステーションへ 富士市中野台

鈴木 亜湖 寂れ 富士市西柏原新田

山下 佳康 霊獣—阿咩— 富士市森下

奨励賞

内海 陽一 見つめる目 富士市伝法

高木 薫 芍薬 富士市鵜無ヶ淵

田中 真紀 スプリング・ガーデン 富士市松岡

望月 和良(暁白) 富士昇竜 富士市水戸島

山本 叡華 BLUR 富士市川成新町

絵 画 入選者

AMON 春来たりて 富士市大淵

井出 光代 紅葉の中で草笛を吹く人 富士市伝法

伊藤 陽 合掌の家 富士市横割

伊東 邦子 明日へ 富士市宮下

伊藤 実紗 猛虎 富士市伝法

伊藤 由美 Hibiscus Kiss 富士市森下

稲田 泰樹 月は地球の未来かもしれない 富士市大淵

井上 照子 春うらら 富士市今泉

宇治野 駿一 迦楼羅 富士市今泉

遠藤 那緒 自画像 富士市浅間上町

大島 良子 宝永山火口 富士市比奈

太田 素雅 実りのあいだで 富士市錦町

太田 千恵子 赫い花 富士市今泉

小野 金二郎 はる君4才の輝き 富士市横割

小野 行雄 山あいの集落 富士市原田

勝又 美幸 羽黒山石段 富士市中野

金谷 亮佑 野原で遊ぶ鳥たち 富士市比奈

木内 英文 六根清浄 富士市広見本町

木村 和代 ひととき 富士市永田町

倉林 和枝 防寒着 富士市伝法

黒川 道利 懐かしの六ツ眼鏡橋 富士市厚原

正田 ゆかり コート 富士市水戸島元町

杉山 和雄 風薫る富士 富士市石坂

鈴木 紀久子 秋桜の咲く頃 富士市大淵

鈴木 美世子 語らず 富士市中野

瀬良 二三江 お見ごと 富士市天間

瀬良 満 思い出の里 富士市天間

武下 紀子 紅葉葵 富士市南松野

鶴味 久春 残雪の園 富士市天間

中川 益代 仙我の滝 富士市今泉

中野 恭成 佇む 富士市中央町

野崎 典子

翔

沼津市根古屋

前嶋 慎一

星の降る夜に

富士市天間

増田 喜美

黄昏時の釣人

富士市比奈

松田 ゆかり

舞—passion—

富士市南松野

望月 史苗

女神輿に笑顔あふれる吉原祇園祭

富士市荒田島

望月 保宏

愛鷹山

富士市広見本町

望月 好男

飛行機雲とちぎれ雲

富士市南松野

山田 直慶

Composition—Y—

富士市富士見台

夢工房浩

デッサン会のモデルさん

富士市天間

吉野 明日香

その悲しみ

富士市天間

隆三

開花二輪(牡丹)

富士市浅間本町

渡辺 立志

アオザイドレスの婦人

富士市川尻

書 道

毛 筆 入賞者

P 17～22

大 賞

清 俊玲

山家集

富士市厚原

優秀賞

芝田 雪柳

左永子歌

富士市青葉町

眞鍋 淳子

花

富士市米之宮町

望月 碧雲

白居易詩

富士市平垣

奨励賞

鈴木 秀雲

七里灘作

富士市伝法

内藤 涼

李賀詩

富士市依田橋町

北條 心野

杜少陵詩

富士市依田原町

渡辺 恵玉

劉孝威詩

富士市青島町

渡邊 晃身

夏の詩

富士市山本

毛 筆 入選者

赤堀 秀峰

陳廣詩

富士宮市西小泉町

秋山 士仙

ほうたるぶくろ

富士市一色

天田 喜代美

中国歴代詩文

富士宮市黒田

有永 湖風

杜甫詩

富士市久沢

飯野 京峰

短歌一首

富士市横割

市川 怜奈

古今集の歌一首

富士宮市小泉

伊藤 竹青

王漁洋詩

富士市伝法

稲岡 竹千

青松寿

富士市伝法

岩瀬 瑞琴

空

富士市日乃出町

植野 敦子

変

富士市中里

影山 峰雲

杜甫詩

富士市八幡町

勝亦 蘭汀

王攄詩

富士市神戸

川崎 華心

根雪ふじ

富士市伝法

小林 尚葉

啄木のうた

富士市中島

齋藤 丹秋

磨穿鉄硯

富士市久沢

齋藤 嶺風

一滴禪

富士宮市小泉

佐野 瑞祥

紫苑

富士市宮下

佐野 竹明哥

空

富士市岩本

入賞者・入選者 一覧

(50音順)

佐野 美竹	花	富士市岩本
鈴木 桂華	李頎詩	富士市中里
鈴木 香蘭	酬趙二侍御使西軍贈兩省旧寮之作	富士市前田
諏訪部 悠華	蘇軾詩	富士市中里
清 玉華	李白詩 送儲邕之武昌	富士市横制
高田 求華	杜少陵詩	富士市中里
田中 瑞芳	霧	富士市松岡
辻 美鳳	西行之歌二首	富士市入山瀬
敏之助	妙法	富士市厚原
外山 青麗	白楽天の詩	富士市永田町
鳥居 己至夫	万葉集	富士市岩本
貫名 富子	短歌	富士市中丸
橋本 翠揚	杜甫詩	富士市松岡
服部 麗仙	白楽天詩	富士宮市西町
平田 梨風	白楽天詩	富士市今泉
福井 禧仰	漢詩	富士市加島町
福井 紫雀	漢詩	富士市加島町
本多 玉蘭	杜甫詩	富士市中柏原新田
村上 艶星	任昉詩	富士市高島町
門西 恵花	登繚繚峯	富士市下横制
渡邊 郁子	いろは歌	富士市平垣本町
渡邊 晃岳	渡浙江問舟中人	富士市厚原
渡邊 祥華	扶溪春望	富士市久沢
渡邊 聖香	杜甫詩	富士市今泉
渡邊 唐雪	窪田空穂の歌	富士市横制

硬 筆 入賞者

P 30～31

優秀賞

岩崎 紫鳳	書画随想	富士市厚原
植松 永香	伊勢物語	富士市中野
鈴木 柚朱	升色紙の臨書	富士市津田

奨励賞

硬 筆 入選者

秋山 恭子	にじいろ	富士市伝法
石川 咲朱	風のうた	富士市伝法
和泉 螢嶺	心なき	富士市松本
稲葉 広雪	奥の細道の一節	富士市岩本
大内 香梢	方丈記	富士市今井
大野 美卯	青柳	富士市厚原
影嶋 岳陽	祭姪文稿	富士市石坂
後藤 景雪	与謝野晶子のうた	富士市原田
小藪 まゆみ	万葉集	富士市浅間上町
高橋 純蓮	与謝野晶子の歌	富士市境
土屋 永桜	与謝野晶子の歌	富士市伝法
永島 怜朱	ひさかたの	富士市一色
原田 朱雪	名言	裾野市千福が丘
坂東 結葉	やさしさに包まれたなら	富士市厚原

藤巻 玲更	夕されば	富士市原田
北條 心野	春の歌（西行）	富士市依田原町
光森 千蓮	方丈記	富士市中野
吉田 栖香	鉄道唱歌	富士市本町

写真・工芸・彫刻

写 真 入賞者

P 35～40

大賞

立石 比呂志	糸蜻蛉の世界	富士市国久保
--------	--------	--------

優秀賞

井澤 雄治	荒波	富士市瓜島町
杉山 幸次	私は誰でしょう？	富士市森島
中野 進	陽光の道	富士市中里

奨励賞

江藤 力	供養	富士市三ツ沢
小澤 治	がに股の木と姫蛭	富士市吉原
斎藤 勝則	こんにちは！	富士市宮下
安田 浩美	雫に咲く	富士市蓼原
山崎 克美	夕映えのシルエット	富士市今泉
山本 安昌	新幹線お見合い	富士市緑町

写 真 入選者

青葉 光正	白木蓮	富士市松岡
赤池 正裕	まなざし	富士市広見東本町
赤堀 末夫	こわい こわい こわい	富士市久沢
飯島 剛	祈り	富士市天間
池田 登志江	恐竜たちの運動会	富士市広見東本町
伊藤 清治	桜咲く新学期	富士市今泉
井上 沙登子	落ち葉と遊ぶ	富士市中里
岩山 慎理	新緑を駆ける	富士市柚木
浦田 和代	縄張り争い	富士市今泉
遠藤 精次	轟く滝壺	富士市松岡
小川 勝己	可愛い！最速ティラノ	富士市蓼原
萩田 長蔵	一打入魂	富士市大淵
小澤 茂行	湧玉池の揺蕩う先に、鴨が静かに泳ぐ	富士市松本
加藤 昭雄	優雅に枝垂れて	富士市岩本
加藤 年一	晩秋	富士市天間
金刺 勝久	夜明けの流れ	富士市蓼原町
久保田 幸夫	激突！	富士市北松野
栗下 泰英	秋信	富士市宮下
後藤 尚	威嚇	富士市神谷
小林 斐子	その視線の先は？満開の桜	富士市大淵
小林 光義	照映	富士市大淵
佐野 哲芳	秋の小径	富士市天間
佐野 淑昭	あこがれ	富士市厚原
佐野 好孝	愛おしい稚児	富士市檜新田
鈴木 明子	希望	富士市水戸島

入賞者・入選者 一覧

(50音順)

鈴木 政美	清楚なほほえみ	富士市石井
関 徹	皐月の頃	富士市元町
高橋 英二	特等席	富士市松岡
高橋 正雄	水面に映る	富士市中里
高橋 満雄	黄昏時の宮殿	富士市三ツ沢
高橋 靖夫	手鏡	富士市松岡
長津 勝恵	富士山、ひと跨ぎ！	富士市富士見台
長津 竹雄	春を撮る人たち	富士市富士見台
仁藤 博康	鏡の中の乙女	富士市中里
仁藤 政孝	想いをつなぐ、最後の一周	富士市富士見台
丹羽 信男	夕景に輝くフジ	富士市厚原
野口 勝子	水面のデュエット	富士市西柏原新田
花崎 敏行	氷紋	富士市伝法
平井 敬子	赤い日傘の女性	富士市厚原
藤田 理行	春のかわも	富士市岩本
宮本 公子	秋彩	富士市宮島
室伏 宣茂	探す	富士市松岡
望月 富夫	彩雲と富士	富士市宮島
望月 洋司	流木	富士市岩本
山崎 光夫	涼を求めて	富士市森島
山本 妙子	みさと芝桜公園	富士市中里
横山 茂	子馬の散歩	富士市石坂
渡辺 恭章	春が来た	富士市厚原

彫 刻 入賞者 P 44

大 賞		
森川 雄翔	紫陽花	富士市鵜無ヶ淵

彫 刻 入選者

木内 英文	薬缶人の倒置法	富士市広見本町
鈴木 真人	おいのり	富士市伝法
立田 衛由	在ることの意味	富士市宮島

陶 芸 入賞者 P 46

優秀賞		
太田 友幸	葵	富士市大淵
奨励賞		
中村 千歳	針千本	富士市大野新田

陶 芸 入選者

青木 万寿枝	ほほえみ	富士市国久保
井出 正	初磁器・起承転結・ビーナス像	富士市宮島
内川 光夫	巖	富士市厚原
小澤 妙子	星雲	富士市松岡
甲木 八恵	光彩抹茶茶碗	富士宮市黒田
後藤 艶子	黒天目の花器	富士市下横割
齊藤 園江	夜明け前	富士市横割
佐々木 光幸	茶釜	富士市荒田島町

佐野 治子	虹のカケラ	富士市今泉
高野 貴巳子	花入れ「赤の道」	富士宮市小泉
中澤 義弘	金釉掛分け扁壺花入	富士市浅間本町
中村 三千子	足柄山の金太郎と熊	富士市広見本町
根上 愛実	深海	富士市中丸
望月 教子	イノセント	富士市松岡
望月 寿枝	暴れ龍の壺	富士市鮫島
横森 春美	颯爽	富士市宮下
渡邊 輝美	帳	富士市厚原

染 織 入賞者 P 48～49

優秀賞		
中村 美帆	わたしのうつわ	富士市三ツ沢
奨励賞		
大芝 紀江	赤い実の着物	富士市水戸島元町
橋戸 律子	和 2026	富士市石坂

染 織 入選者

石川 三幸	コデマリ・浮揚	富士市大淵
黒田 桂子	笹	富士市大淵
笹倉 記世子	結華Ⅱ	富士宮市神田川町
土井 美紀	春風に誘われて	富士市高島町
平松 雅子	陽だまり	富士市大淵

工芸総合 入賞者 P 51

奨励賞		
本田 孝平	運河のある暮らし	富士市荒田島町

工芸総合 入選者

蒼二オのアルチザン	誕生日には花を買って	富士市石坂
大竹 たか江	紙で遊ぶ 紙と遊ぶ	富士市川成島
立田 衛由	Who we are? Who am I?	富士市宮島
田中 公美子	花盛り	富士市南松野
深澤 章吾	雨畑長方しぐれ硯	富士市北松野

富士市展作品応募状況

部門	内訳 回 (年度)	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60
		平成19	平成20	平成21	平成22	平成23	平成24	平成25	平成26	平成27	平成28	平成29	平成30	令和元	令和2	令和3	令和4	令和5	令和6	令和7	令和8
書 道	毛筆	91	91	96	81	87	95	85	76	79	74	76	68	64	64	63	63	67	66	53	52
	硬筆	52	60	58	57	57	58	55	55	59	57	52	48	43	24	33	30	23	17	17	21
	計	143	151	154	138	144	153	140	131	138	131	128	116	107	88	96	93	90	83	70	73
工 芸	陶芸	38	39	44	49	49	30	43	33	23	22	15	14	12	9	9	6	5	8	8	19
	染織	26	37	27	25	26	19	20	17	26	28	25	22	23	10	3	8	13	11	13	8
	工芸総合	7	4	18	15	14	15	12	17	12	13	9	11	10	4	6	5	4	7	6	6
	計	71	80	89	89	89	64	75	67	61	63	49	47	45	23	18	19	22	26	27	33
彫刻	彫刻	11	9	10	4	4	3	4	3	4	3	3	4	4	5	5	3	6	4	3	4
写真	写真	165	157	149	157	140	133	136	130	115	120	118	99	101	83	84	81	70	70	59	58
絵 画	洋画	118	105	107	97	92	86	82	76	67	73	53	53	47	33	38	41	33	35	29	53
	日本画	37	33	42	40	36	32	34	32	34	30	31	26	27	17	20	20	13	14	12	
	計	155	138	149	137	128	118	116	108	101	103	84	79	74	50	58	61	46	49	41	53
デジタルアート																					41
総 計	計	545	535	551	525	505	471	471	439	419	420	382	345	331	249	261	257	234	271	286	262



富士山と歩んだ60年、
次の未来へ

第60回 富士市展図録

令和 8 年 9 月16日発行

発行 富士市

印刷 株式会社 文光堂